

立川市・施策一覧(制度の抜本改革対応)

施策番号	施策	提言番号	提言	主な提言内容	重要性	優先度	第1ステップ	第2ステップ	第3ステップ	分類
1	具体的な最適調達基準の設定	1	最適調達基準の明定と周知	主な案件ごとに具体的な「最適調達基準」の要件を検討・明定し、しかる後に調達・購買に関する規程・規則の見直しを行い、周知徹底策を実施する。	大	A				契約・品質
2	最適調達基準と整合した業者審査・格付け基準の設定	2	最適調達基準と整合した業者審査・格付け基準(案)の設定	「最適調達基準」を明定した後、最適調達基準と整合した業者審査・格付けの基準を検討・明定する。	大	A				契約
3	最適調達基準と整合した品質検査基準(案)の設定 品質検査チェックリスト(案)の作成	3	最適調達基準と整合した品質検査基準(案)の設定	「最適調達基準」を明定した後、最適調達基準と整合した品質検査基準を検討・明定し運用する。	大	A				品質
		4	工物品質検査チェックリスト(案)の整備	業者への品質検査チェックリストを整備する。	大	A				品質
4	最適調達基準に基づく業者選定方法・入札参加資格の設定手順(案)の設定	5	最適調達基準と整合した入札参加資格要件の設定	「最適調達基準」を明定した後、最適調達基準と整合した入札参加資格要件の設定基準(案)を検討する。	大	B				契約
		6	市内業者の競争性の把握と「最適調達基準」に整合した地域要件の取扱い等の検討	市内業者がどの程度の競争力・施工能力等を有しているのかを把握するとともに、「最適調達基準」の設定にあたり地域要件の取扱いと健全な市内業者の育成の実現方策について検討する。	大	B				契約
		7	最適調達基準と整合した業者選定方法(案)の検討	「最適調達基準」を明定した後、「最適調達基準と整合した業者選定方法」(案)を確立する。(入札方法のメリット・デメリットの整理・検討、様々な制約条件の検討等)	大	B				契約
		8	「郵便入札による一般競争入札の試行」の結果の検証	「郵便入札による一般競争入札の試行」の結果を十分に評価し、メリット・デメリットを整理する。	大	A				契約
		9	電子入札導入の検討	一般競争入札を原則とした電子入札制度を導入することを前提に具体的な準備と検討を行う。	大	A				契約
		10	最適調達基準と整合した指名基準の検討	「最適調達基準」を明定した後、最適調達基準と整合した業者指名基準を検討・明定する。	大	B				契約
		11	最適調達基準と整合した特命随意契約ガイドラインの検討	「最適調達基準」を明定した後、最適調達基準と整合した特命随意契約ガイドラインに改訂する。	中	B				契約
5	業者審査・格付け結果の蓄積と、業者審査・格付け基準の修正	12	業者評価の実施と評価データ蓄積	「業者審査・格付け基準(案)」により継続的に業者評価を行い結果に応じて適宜基準の修正に反映させる。	大	C				契約
		13	地域要件廃止に向けた業者評価の蓄積	当面の間(1~2年程度)、品質検査結果や業者評価結果の蓄積を行い、各業者の競争力を把握し必要に応じて改善を促す。	大	C				契約
6	品質検査結果データの蓄積と、品質検査基準の修正	14	工物品質検査結果の事跡確保	適切な品質検査を実施していること的事跡を確保する。	大	A				品質

立川市・施策一覧(制度の抜本改革対応)

施策番号	施策	提言番号	提言	主な提言内容	重要性	優先度	第1ステップ	第2ステップ	第3ステップ	分類
		15	品質検査基準に基づく検査データの蓄積	「品質検査基準(案)」により継続的に品質検査を行い結果に応じて適宜基準の修正に反映させる。	大	C				品質
7	業者選定結果の蓄積と、業者選定方法等の修正	16	最適調達基準と整合した業者選定結果の蓄積	「最適調達基準と整合した業者選定方法(案)」による業者選定を試行し、結果を蓄積するとともに、「最適調達基準と整合した業者選定方法(案)」の修正に反映させる。	大	C				契約
8	談合情報や下請いじめ等の情報の受付窓口の設置と調査対応体制の見直し	17	談合情報等の受付窓口の明確化	談合情報や下請いじめ等の情報を受け付ける「ヘルプライン」等の相談窓口を明確に設置する。	大	A				契約
		18	情報があった場合の調査対応体制の見直し	情報があった場合の第三者による調査(監査委員会、入札監視委員会等)の検討等を行う。	大	A				契約
9	設計・積算におけるコスト削減	19	設計価格におけるコスト削減	立川市が共通材料や既成の製品等を集中購買して業者に支給する等、コスト削減を図る。	大	A				品質
10	立川市独自の積算単価の検討	20	立川市独自の積算単価の長所・短所の検討	立川市が独自で市場価格を調査し、独自の積算単価を設定することの長所・短所(限界)を十分に検討し、その結果を公開する。	小	C				品質
11	設計・積算業務の維持・改善	21	積算・設計の業務品質の維持向上(教育研修)	設計・積算の担当職員に対し、積算業務の専門的な研修を義務付ける。	大	C				品質
		22	積算・設計の業務品質の維持向上(人事ローテーション)	設計・積算の担当職員の人事ローテーション等において、職員の資質・資格を勘案し、ある程度は固定化するという人事面での配慮を行う。	大	C				品質
12	委託契約の見積業務の内製化	23	委託契約の見積業務の内製化促進	予定価格の作成においては、担当職員自ら見積を実施することを目指し、人件費の標準単価の設定や標準工数の設定、積算方法の教育等に着手する。	大	C				品質